

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 3 年 5 月 20 日 (2021.5.20)

【公開番号】特開 2021-6328 (P2021-6328A)  
 【公開日】令和 3 年 1 月 21 日 (2021.1.21)  
 【年通号数】公開・登録公報 2021-003  
 【出願番号】特願 2020-178795 (P2020-178795)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 4 月 8 日 (2021.4.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、  
前記設定手段により設定された設定値を確認可能な設定確認状態に制御可能な設定確認  
制御手段と、  
遊技に関する処理を実行可能な割込処理を実行する割込処理実行手段と、  
可変表示が停止した後から次の可変表示が開始されるまでの可変表示停止期間を計時す  
る停止期間計時手段と、  
遊技者にとって有利な第 1 状態と、遊技者にとって不利な第 2 状態とに変化する可変手  
段と、  
前記有利状態中に前記可変手段を前記第 2 状態から前記第 1 状態に変化させる所定遊技  
を複数回実行可能な所定遊技実行手段と、  
前記可変手段を前記第 1 状態に変化させる変化期間を計時する可変計時手段と、  
前記有利状態が終了したことに応じて報知演出を実行可能な報知演出実行手段と、  
前記報知演出が実行される報知期間を計時する報知計時手段と、を備え、  
前記設定確認制御手段は、遊技機への電力供給が開始したときであって前記割込処理が  
実行される前に前記設定確認状態に制御可能であり、  
前記設定確認状態が終了したときに前記割込処理が実行され、該割込処理が実行された  
後、遊技機への電力供給が停止されるまで前記設定確認状態に制御されず、  
前記可変表示停止期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後  
に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態  
が終了するまで前記可変表示停止期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したとき  
に前記可変表示停止期間の計時が再開され、  
前記変化期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後遊技機  
への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終了す  
るまで前記変化期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記変化期間の  
計時が再開され、

前記報知期間が計時されている間に遊技機への電力供給が停止され、その後に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御されたときに、該設定確認状態が終了するまで前記報知期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記報知期間の計時が再開される、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来、複数の設定値のうちのいずれかに設定可能であり、設定された設定値にもとづいて遊技者にとって有利な有利状態の制御を実行可能なパチンコ遊技機があった。このようなパチンコ遊技機において、設定値を確認するための設定確認処理では、実行中のメイン処理が全て終了したときにしか次の処理へ移行できなかった（例えば、特許文献1参照）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、特許文献1にあっては、設定確認をすぐに行いたい状況のときに、実行中の全ての処理が終わるまで待たねばならず、好適に設定確認作業を実行することできないという問題がある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような問題点に着目してなされたもので、好適に設定確認作業を実行することができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

（A） 可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、

前記設定手段により設定された設定値を確認可能な設定確認状態に制御可能な設定確認制御手段と、

遊技に関する処理を実行可能な割込処理を実行する割込処理実行手段と、

可変表示が停止した後から次の可変表示が開始されるまでの可変表示停止期間を計時する停止期間計時手段と、

遊技者にとって有利な第1状態と、遊技者にとって不利な第2状態とに変化する可変手段と、

前記有利状態中に前記可変手段を前記第2状態から前記第1状態に変化させる所定遊技

を複数回実行可能な所定遊技実行手段と、

前記可変手段を前記第 1 状態に変化させる変化期間を計時する可変計時手段と、

前記有利状態が終了したことに応じて報知演出を実行可能な報知演出実行手段と、

前記報知演出が実行される報知期間を計時する報知計時手段と、を備え、

前記設定確認制御手段は、遊技機への電力供給が開始したときであって前記割込処理が実行される前に前記設定確認状態に制御可能であり、

前記設定確認状態が終了したときに前記割込処理が実行され、該割込処理が実行された後、遊技機への電力供給が停止されるまで前記設定確認状態に制御されず、

前記可変表示停止期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終了するまで前記可変表示停止期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記可変表示停止期間の計時が再開され、

前記変化期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終了するまで前記変化期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記変化期間の計時が再開され、

前記報知期間が計時されている間に遊技機への電力供給が停止され、その後に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御されたときに、該設定確認状態が終了するまで前記報知期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記報知期間の計時が再開される、

ことを特徴とする。この特徴によれば好適に設定確認作業を実行することができる。

( 1 ) 始動領域 ( 例えば、第 1 始動入賞口、第 2 始動入賞口 ) に遊技媒体 ( 例えば、遊技球 ) が進入したことに基づいて可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態 ( 例えば、大当り遊技状態 ) に制御可能な遊技機 ( 例えば、パチンコ遊技機 1 ) であって、  
遊技を進行可能な遊技制御手段 ( 例えば、CPU 103 ) と、

前記遊技制御手段からの情報 ( 例えば、演出制御コマンド ) に基づいて、演出を制御可能な演出制御手段 ( 例えば、演出制御用 CPU 120 ) と、

遊技者にとって有利度が異なる複数段階の設定値のうちいずれかの設定値 ( 例えば、設定値 1 ~ 6 ) に設定可能な設定手段 ( 例えば、CPU 103 ) と、

所定条件の成立 ( 例えば、設定変更操作が実行されること ) に基づいて、設定値の変更が可能な設定変更状態に制御可能な設定変更手段 ( 例えば、CPU 103 が設定変値変更処理を実行する部分 ) とを備え、

前記演出制御手段は、前記始動領域に遊技媒体が進入したことを指定する情報 ( 例えば、第 1 始動入賞口指定コマンド、第 2 始動入賞口指定コマンド ) に基づく動作 ( 例えば、保留表示を表示する ) を所定の演出手段 ( 例えば、画像表示装置 5 ) に実行させることが可能であり、

前記所定の演出手段は、前記設定変更状態に制御されているときに、前記始動領域に遊技媒体が進入したことを指定する情報に基づく動作を実行しない ( 例えば、図 10 - 3 に示すように、演出制御用 CPU 120 は、設定変更状態に制御されているときに、第 1 始動入賞口指定コマンド、第 2 始動入賞口指定コマンドを受信したとしても第 1 始動入賞口指定コマンド、第 2 始動入賞口指定コマンドを破棄するため、当該第 1 始動入賞口指定コマンド、第 2 始動入賞口指定コマンドの受信に基づく制御を実行しない ) 。